

Abstract

AROMA RESEARCH No.75(Vol.19 No.3)

ネコの糞に種や性、個体の情報を付加するケミカルシグナルの特定

宮崎雅雄

<要旨>

ネコは糞のにおいを残し、縄張りをマーキングする。しかし糞を嗅いだネコが、におい主の情報をどこまで識別しているか未解明だった。我々は、オスネコの糞に特有な悪臭を付加する揮発性化合物、3-メルカプト-3-メチル-1-ブタノールを同定し、これが性識別フェロモンとして機能している可能性を見出した。また複数の短鎖脂肪酸がネコの糞の悪臭を作る主成分であり、ネコごとに異なる脂肪酸の組成をネコが嗅ぎ分けてにおい主の個体を識別していることが考えられた。これらの成果は、身近な動物の縄張り行動に関する既存の知識に化学的な根拠を加えるものであり、さらにネコの糞の悪臭を低減させる技術開発にも応用が期待される。

<キーワード>ネコ、化学コミュニケーション、糞、揮発性化合物、フェロモン